

読解
9月
2

小説を読もう

故郷 ① ② ③

竹内好 魯迅

教科書 86~102P

語句楽帳 7~13P

朗読CD 7・8・9月号 9~13

解答と解説 12~13P

月 日

今日のポイント

- 「故郷」を通読して、登場人物を取り巻く状況や時代背景を考えながら大まかな内容をつかむ。
- 二十年ぶりに帰った故郷の光景を前にして揺れる「わたし」の心情を読み取る。

ポイント1
チェック

① 102P 「魯迅と『故郷』の時代」を読んで作品の時代背景を知ったうえで、「故郷」を読み通し、場面ごとに内容を大づかみにしましょう。表の() (ア)~(エ)には、教科書から言葉を書き抜きましょう。

内容

「わたし」は真冬の厳しい寒さの中を二十年ぶりに故郷へ帰ったが、「わたし」の思い出の中の美しい光景とまる()で違う故郷のわびしい光景は()の感を誘うものだった。今度の帰郷は古い家を明け渡して、()へ引越すためである。

明くる日の朝早く、我が家に着いた「わたし」を迎えてくれたのは()と甥の()であった。母と引越すについて話をしているうちに()のことが話に出た。

突然「わたし」の脳裏に不思議な画面が繰り広げられたが、それは三十年近い昔のルントウが()をつるし、鉄の刺叉(さすまた)を持って立っている姿だった。ルントウは当時「わたし」の家で働いていた()の息子で、「わたし」や「わたし」の遊び仲間の知らないたぐさんのことを教えてくれた。この思い出の中に、「わたし」はやっとな美しい故郷を見た思いがした。

ズボンをはいて立った姿が()で、()で、勝手に物を持っていく人たちの一人だった。

ある寒い日の午後、「わたし」はルントウと再会したが、ルントウは長年の苦勞が刻まれた風貌(ふうぼう)で、()に()があるルントウとは似もつかなかった。態度も他人行儀(たにぎよ)で、悲しむべき()が二人を隔(へ)ててしまったのを感じた。

6	5
97 P 11行目 100 P 6行目	94 P 2行目 97 P 10行目
故郷を離れる	ルントウとの再会
九日後、「わたし」たちは故郷を後にした。遠ざかる故郷を背にして、ルントウの()の面影もぼんやりし、悲しく思う。手に入りにくい希望だとしても、若い世代には「わたし」たちの経験しなかった()を持ってほしいと思うが、それもルントウの()と同じではないかとも思った。そして、まどろみかけた「わたし」の心に、希望に向かって踏み出す人が増えていけば希望が実現するという思いが浮かんだ。	「わたし」はルントウと一緒にやってきた五番目の子供の()であると思った。

※主な登場人物

- ・わたし(シユン) ———— わたしの甥(ホニル) ———— わたしの母
- ・わたしの幼な友達(ルントウ) ———— ルントウの息子(シユイシヨウ) ———— ヤンおばさん

ポイント2
チェック

右の表の1~2の場面について、内容の理解を深めましょう。

(1) ⑧86P 9行目「こんなふう」とは、どのような様子の故郷のことを言っていますか。次の①~④の()に入る字数の言葉を、教科書からそれぞれ書き抜きましょう。

①	の空の下、	②	
③	もなく横たわっていて、	④	
			村々が、

の感を覚えさせるような故郷。

(2) ⑧86P 12行目「もともと故郷はこんなふうなのだ」と言い聞かせようとしている「わたし」の心境について、次の①~③の()に入る字数の言葉を、教科書からそれぞれ書き抜きましょう。

①	前とちがって、今回は住み慣れた
②	に別れを告げて

(3) ⑧87P 4~6行目「屋根には…理由を説き明かし顔である。」とありますが、ここから考えられる理由について説明した次の文の①~⑦の()に入る言葉を後から選んで記号で答えましょう。

・もとは立派だったはずの家の()を()が()におおっていることから、住む家の()を()もないほど()的に()状況だったため、他人に家を売り渡すしかなかったことがわかる。

- | | | | | |
|-----------|-------|----------|------|-------|
| ア 故郷 | イ お金 | ウ 経済 | エ 表門 | オ 忙しい |
| カ ひま | キ 屋根 | ク 時間 | ケ 一面 | コ 手入れ |
| サ 枯れ草のやれ茎 | シ 苦しい | ス おりからの風 | | |

今日のポイント

$(x+a)^2=b$ の形に変形して解く方法... $x^2+px=q$ の形にして、両辺に x の係数 p の半分の2乗を加えて、平方完成する。

$(x+P)^2=Q$ の形に変形して解く方法

2次方程式 $x^2+px+q=0$ の左辺が因数分解できない場合、 $(x+P)^2=Q$ の形に変形して、解くことができる。

【例】 $x^2+4x-3=0$

$x^2+4x=3$

定数項の-3を右辺に移項する

x の係数の $\frac{1}{2}$ の2乗を両辺に加える

$x^2+4x+2^2=3+2^2$

$(x+2)^2=7$

$x+2=\pm\sqrt{7}$

$x=-2\pm\sqrt{7}$

左辺を $(x+a)^2$ の形に変形する
 $x+2$ は7の平方根
 $+2$ を右辺に移項する

左辺を、因数分解の公式
 $x^2+2Px+P^2=(x+P)^2$
を利用して、左辺を $()^2$ の形に直すことがポイントだよ。



ポイントチェック

□をうめて、解き方を自分でまとめよう。

$(x+P)^2=Q$ の形に変形して解く方法

(1) $x^2+2x-1=0$

$x^2+2x=\square$

-1を移項

左辺を $(x+P)^2$ の形に変形するために、

両辺に x の係数の $\frac{1}{2}$ の2乗を加えると、

$x^2+2x+\square=1+\square$

$(x+\square)^2=2$

$x+\square=\square$

$x=\square$

左辺を $(x+P)^2$ の形に変形

(2) $x^2-6x+3=0$

$x^2-6x=\square$

左辺を $(x-P)^2$ の形に変形するために、

両辺に x の係数の $\frac{1}{2}$ の2乗を加えると、

$x^2-6x+\square=-3+\square$

$(x-\square)^2=\square \dots (x-P)^2=Q$ の形

$x-\square=\square$

$x=\square$

確認問題

1 次の方程式を解きなさい。

(1) $x^2+2x-4=0$

(2) $x^2-4x+1=0$

(3) $x^2-6x-3=0$

(4) $x^2+8x-2=0$

2 2次方程式 $x^2+px+q=0$ で、 x の係数が奇数の場合も、偶数の場合と同じように考えて解くことができる。□にあてはまる数を入れて、方程式を解きなさい。

(1) $x^2+3x-2=0$

$x^2+3x=\square$

$x^2+3x+(\square)^2=2+(\square)^2$

$(x+\square)^2=2+\square$

$(x+\square)^2=\square$

$x+\square=\pm\square$

$x=\square$

(2) $x^2-5x+3=0$

$x^2-5x=\square$

$x^2-5x+(\square)^2=-3+(\square)^2$

$(x-\square)^2=-3+\square$

$(x-\square)^2=\square$

$x-\square=\pm\square$

$x=\square$